

# バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 バイオマス活用協議会会長賞)

九州

- ・応募主体 福岡県築上町
- ・都道府県・市町村 福岡県築上町
- ・取組分野 堆肥化

## 取組概要

町内（椎田地区）のし尿、汚泥から液肥を製造。水稻、麦などの肥料として利用し、生産された水稻は学校給食や民間企業との契約で販売。

町内（椎田地区）で発生するし尿、浄化槽、農業集落排水汚泥(10,600t/年)を収集し有機液肥製造施設で好機性発酵処理を施し有機液肥（10,600t/年）を製造し、町内農地約250haで元肥、穂肥として利用。液肥散布は一回100円の低料金で町が行い、液肥の利用を促進。栽培作物として水稻、麦、レタス、タカナなどを中心に液肥利用。液肥を利用米を「福岡県減農薬・減化学肥料栽培特別栽培認証制度」の認証を受けた減・減米として町内の学校給食や民間企業に提供。学校給食への液肥利用米導入に併せて、小学校にて尿尿液肥利用米に関する「液肥授業」を行い、液肥利用米・循環システムについての子供たちの評価・認識が向上。

し尿・汚泥の液肥化により、従来の活性汚泥処理法に比較し、液肥散布作業の市の負担を加味しても、処理コストの50%削減を達成。  
窒素換算で年間約20tの化学肥料の利用を削減。

